

Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency

CASBEE札幌



重点項目 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.2

■使用評価ソフト: CASBEE札幌2014(ver.1.3)

1 建物概要		BEE	1.1	BEEランク	B ⁺
建物名称	篠路小学校	総合評価	★★★★★	★★★★★	
建物用途	学校				
延床面積	3,042.18 m ²				

2 重点項目への取り組み

地球温暖化対策	最重点項目 省エネルギー	★★★★★
	省資源等	★★★★☆
	緑化	★★★★★
	雪処理	★★★★★

レーダーチャート

この建物は特に
緑化への取組
が優れています

3. 設計上の配慮事項とCASBEEスコア

A 省エネルギー		合計	18点	／24点
Q1 温熱環境	スコア 1.0	LR1 建物外皮の熱負荷抑制	スコア	0.0
Q1 光・視環境	スコア 1.0	LR1 自然エネルギー利用	スコア	1.0
		LR1 設備システムの高効率化	スコア	13.0
		LR1 効率的運用	スコア	2.0
B 省資源等		合計	15点	／23点
Q2 耐用性・信頼性	スコア 1.0	LR2 非再生性資源の使用量削減	スコア	6.0
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア 1.0	LR2 汚染物質含有材料の使用回避	スコア	1.0
		LR3 地球温暖化への配慮	スコア	4.0
		LR3 地域環境への配慮	スコア	2.0
C 緑化		合計	10点	／16点
Q3 生物環境の保全と創出	スコア 2.0	LR3 地域環境への配慮	スコア	1.0
Q3 まちなみ・景観への配慮	スコア 6.0			
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア 1.0			
D 雪処理		合計	3点	／3点
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア 1.0	LR3 地域環境への配慮	スコア	2.0

4 設計上の配慮事項

A 省エネルギー		
外断熱工法とLowEペアガラスによる断熱性能を向上させることで、暖房エネルギーを抑える計画としている。 また、屋上に太陽光パネルを用いることで、消費電力を抑える計画としている。		
B 省資源等	C 緑化	D 雪処理
ゴミをまとめ分別できる場所を設置している。	新しい校舎周辺に、樹木を可能な限り植樹している。	昇降口を南側道路に面し、近い位置に設けることで、除雪範囲を抑えることとしている。 玄関からグラウンドまで、除雪ルートを確保することで除排雪のしやすさを確保しています。グラウンドに雪を貯めることで、敷地外に雪を出さない計画としています。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される